

効果検証シート

実施年度	交付金の種類	事業名			担当室
平成30年度	市単	出産・子育て・教育 地域まるごと応援推進プロジェクト			健康・子育て支援室／ 学校教育室
事業実績額(円)		1,647,651			
総合戦略での位置づけ	プロジェクト名	若者定住促進プロジェクト			
	基本的な方向	育ちと学び、人と人をつなげる小中一貫教育の推進/子育てしやすい労働環境整備/安心・安全な子育て環境づくり			
	具体的な施策	産み育てるにやさしいまち“なばり”の実現/「なばりブランド」としての“ひと”づくり ～魅力ある教育の推進～			
事業期間		平成30年度～令和2年度			
事業の目的		<p>(1)妊産婦応援事業 妊産婦応援都市宣言の推進のための周知・啓発をはじめ、新たな取組として「こそだてサポーター養成講座」を開催します。子育て教室、おっぱいケア事業、市内16の地域の子育て広場、小中学生に向けた命の教育、子育て支援員研修の受講の動機づけなど、充実した支援ができる体制を整えます。</p> <p>(2)ぱりっ子ピカピカ小1学級体験プロジェクト 幼児期から小学校への就学をスムーズに向うことができるようコーディネート役として地域の人材が市内すべての幼稚園等の現場に入り出前授業を実施し、小学校への期待感を持てるように取り組みます。</p>			
全事業期間における本年の位置づけ		「産み育てるにやさしいまち“なばり”」の実現を市民総ぐるみの取組として深化させるため、それぞれの取組体制の充実を図り、関係機関団体との密な連携によって運用を開始するとともに、この取組を市内外に向けて周知・啓発に努め円滑な事業推進を図ります。			
重要業績評価指標 (KPI)	指標		基準値(H30.3)	目標値(H31.3)	実績値(事業終了時)
	市外への転出超過の抑制数		101人	前年比10人抑制	前年比308人抑制
	出産・子育て・教育 地域まるごと応援事業による事業の数		15事業	2事業増	1事業増
	子育てサポーターの数		0人	100回	27回
平成30年度の取組概要		<p>(1)妊産婦応援事業 妊産婦応援都市宣言の推進のための周知・啓発をはじめ、新たな取組として「こそだてサポーター養成講座」を実施しました。また子育て教室、おっぱいケア事業、地域の子育て広場、小中学生に向けた命の教育(性教育)、子育て支援員研修の受講の動機づけなど、充実した支援ができるよう体制を整えました。</p> <p>(2)ぱりっ子ピカピカ小1学級体験プロジェクト 就学前から小学校への円滑な接続の支援を行い、コーディネート役として地域の人材が市内すべての幼稚園や認定こども園、保育園の現場に入り、「言葉あそび」「数あそび」「ものづくり」「からだづくり」などのテーマの出前授業を実施しました。</p>			
外部有識者による効果検証	検証の時期	令和元年7月			
	検証の体制	名張市地域活力創生会議による			
	主な意見	<p>・子育てにやさしい取組の中で、待機児童の解消のため、保育施設の整備などに取り組んでいるが、出生率が下がっている中において、保育施設間での0～2歳児の取り合いが起きている現状もある。一方で、保育士不足の状況下において、0歳児の入所は産後であるが、保育士は4月の時点で確保する必要があるため、保育現場では課題となっている。</p> <p>・子どもが被害者となる事件がある中で、「見守り」が必要。百合が丘地域では83運動を実施し、児童の登下校時間帯に各自が屋外に出て「見守り」を行っている。これらの運動を見える化するため、のぼりなどを設置することでより効果的になると思う。また全市的にも広げてほしい。</p> <p>・地方創生の取組は、地域の隅々にまで知られていない印象がある。現場の声を反映した政策を行うことも必要。市民一人ひとりが名張の営業マンになってほしい。</p>			
	結果の公表	令和元年9月以降 ホームページで公表予定			
市議会による効果検証の有無		有 ・ 無 (時期 : 令和元年8月)			
総合評価		一部のKPIが目標値に達成しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる			
今後の方針	方針	事業の継続			
	理由	計画どおり事業を継続する			